



2020. 12. 17 五色台少年自然センターで撮影

メタセコイアの球果と種子

きゅうか

(ヒノキ科メタセコイア属)

メタセコイアの並木道に2cm程度の丸いものが落ちていました。これは、^{めばな}雌花が^{じゅく}熟して落下したもので^{きゅうか}球果といえます。この球果を振ってみると、中からたくさんの種子が出てきました。

メタセコイアは12月頃つぼみをふくらませ、翌年の春頃に開花します。その後、雌花は球果を形成し、冬にはたくさんの種子を散布させます。種子はとても軽く、広い^{よく}翼もあり、風で遠くまで運ばれるようなつくりをしています。ちなみに、同じ針葉樹の松ぼっくりも球果ですが、メタセコイアとは形も大きさも異なります。違いを比べてみてもおもしろいですね。